命を守る行動を身に付けよう

強い揺れを感じた際は、どこにいても慌てずに落ち着いて行動することが重要です。そのためには、日常生活のさまざまな場面で地震を想定し、命を守る行動をイメージしておくことが大切です。今回は外にいるときに気を付けるポイントを紹介します。

屋外で身を守るポイント

屋根瓦や割れた窓ガラス、看板などの上からの落下物や建物の崩壊に注意しましょう。

かばんなどの手荷物で頭部を守り、建物から離れ、開けた場所を探しましょう。

自動販売機や路上に設置された看板、自転車などの転倒に注意しましょう。

適切な避難のタイミング

揺れが収まってから、公園などの広く安全な場所へ移動しましょう。

いじめを防止 vol.84

わたしたちが子どもたちを見守ります

独立行政法人地域医療機能推進機構 可児とうのう病院(土田)

Q.協力のきっかけは？

地域に密着し、信頼される病院を目指し、地域の子どもの成長の一助となればと思い、参加しました。

Q.どんな取り組みを？

来院された人の目に触れるよう、病院や附属施設に、ポスターやステッカーを貼っています。

市内唯一の公的病院として、地域医療を担っています。

いじめ防止協力事業所・
団体随時募集中！

このコーナーでは、子どもへの声掛けや見守りなど、いじめ防止につながる取り組みをしていただいている事業所や団体を紹介しています。